

樋口慶千代

ひぐち・よしちよ

福山誠之館教師、福山誠之館中学校校歌作詞

経歴

生:明治14年(1881年)9月7日、福山町東町生まれ

没:昭和30年(1955年)ごろか、享年76歳ごろか

明治28年(1895年)4月15日	13歳	試験により広島県福山尋常中学校第二年級に編入される
明治32年(1899年)3月31日	17歳	広島県第二尋常中学校(誠之館)卒業(出典4)
明治32年(1899年)5月31日	17歳	父樋口松太郎が病死(出典6)
明治32年(1899年)9月17日	18歳	正則英語学校(東京神田区錦町)に入学
明治34年(1901年)12月20日	20歳	正則英語学校を退学
明治35年(1902年)4月	20歳	東京帝国大学文科大学内第一臨時教員養成所国漢文科に入学
明治37年(1904年)3月25日	22歳	東京帝国大学文科大学内第一臨時教員養成所国漢文科を卒業
明治37年(1904年)6月22日～ 大正4年(1915年)4月17日	22～ 33歳	広島県立福山中学校(誠之館)国語科教諭
—	—	東京帝国大学文科大学国語研究室
大正12年(1923年)～ 昭和5年(1930年)ごろ	42～ 49歳ごろ	東京帝国大学附属図書館司書(和漢書取調担当)
大正14年(1925年)	44歳	立正大学(江戸文学評論史講義)
—	—	以後近松の研究
昭和5年(1930年)	49歳	『近松語彙(近松門左衛門論)』を発表
昭和5年(1930年)ごろ～ 昭和20年(1945年)ごろ	49ごろ～ 64歳ごろ	立正大学教授兼東洋文庫
—	—	東京都立日比谷図書館(アルバイト)
—	—	日本大学付属図書館嘱託
—	—	日本大学で図書館学を講義
—	—	文部省立図書館職員養成所で講義

生い立ちと学業、業績

樋口松太郎の子に生まれる。父親は長年野上尋常小学校に勤め、なかでも15年余は校長として精励した。

慶千代は、誠之館を明治32年(1899年)3月に卒業した。

明治37年(1904年)から大正4年(1915年)4月まで、誠之館の国語科教諭として奉職した。在職中に福山中学校校歌を作詩した。

その後、東京帝国大学附属図書館の司書となり、『近松語彙(近松門左衛門論)』を発表した。(出典2)

誠之館所蔵品

管理No.	氏名	名称	制作/発行	日付
02865	樋口慶千代 著 福山学生会事務所 編	「幽霊」『福山学生会雑誌(第50号)』、9頁	福山学生会事務所	大正6年
06753	長澤規矩也 著	『古書のはなしー書誌学入門ー』	富山房	昭和51年
02060	鳥山進 著 福山誠之館同窓会 編	「温故知新」『懐古ー誠之館時代の思い出ー』、20頁	福山誠之館同窓会	昭和58年

出典1:『第25回卒業記念写真』、福山誠之館、明治44年

出典2:『誠之館百三十年史(上巻)』、882,922頁、福山誠之館同窓会編刊、昭和63年12月1日

出典3:『懐古ー誠之館時代の思い出ー』、20頁、鳥山進著、福山誠之館同窓会編刊、昭和58年5月15日

出典4:『会員名簿(第24号・平成16年版)』、61頁、福山誠之館同窓会編刊、平成16年5月5日

出典5:『古書のはなしー書誌学入門ー』、188頁、長澤規矩也著、富山房刊、昭和51年11月20日

出典6:『新編「福山いしぶみ散歩」』、12頁、「霞小学校の源流」、佐野恒男著、福山市文化財協会刊、1996年9月1日

2004年10月26日更新:経歴●2005年4月8日更新:出典●2006年6月28日更新:タイトル●2008年7月28日更新:経歴・本文・関連情報●2011年8月15日更新:経歴・誠之館所蔵品・出典・関連情報(削除)●2011年8月16日更新:写真・誠之館所蔵品・出典●2012年3月9日更新:経歴・本文●